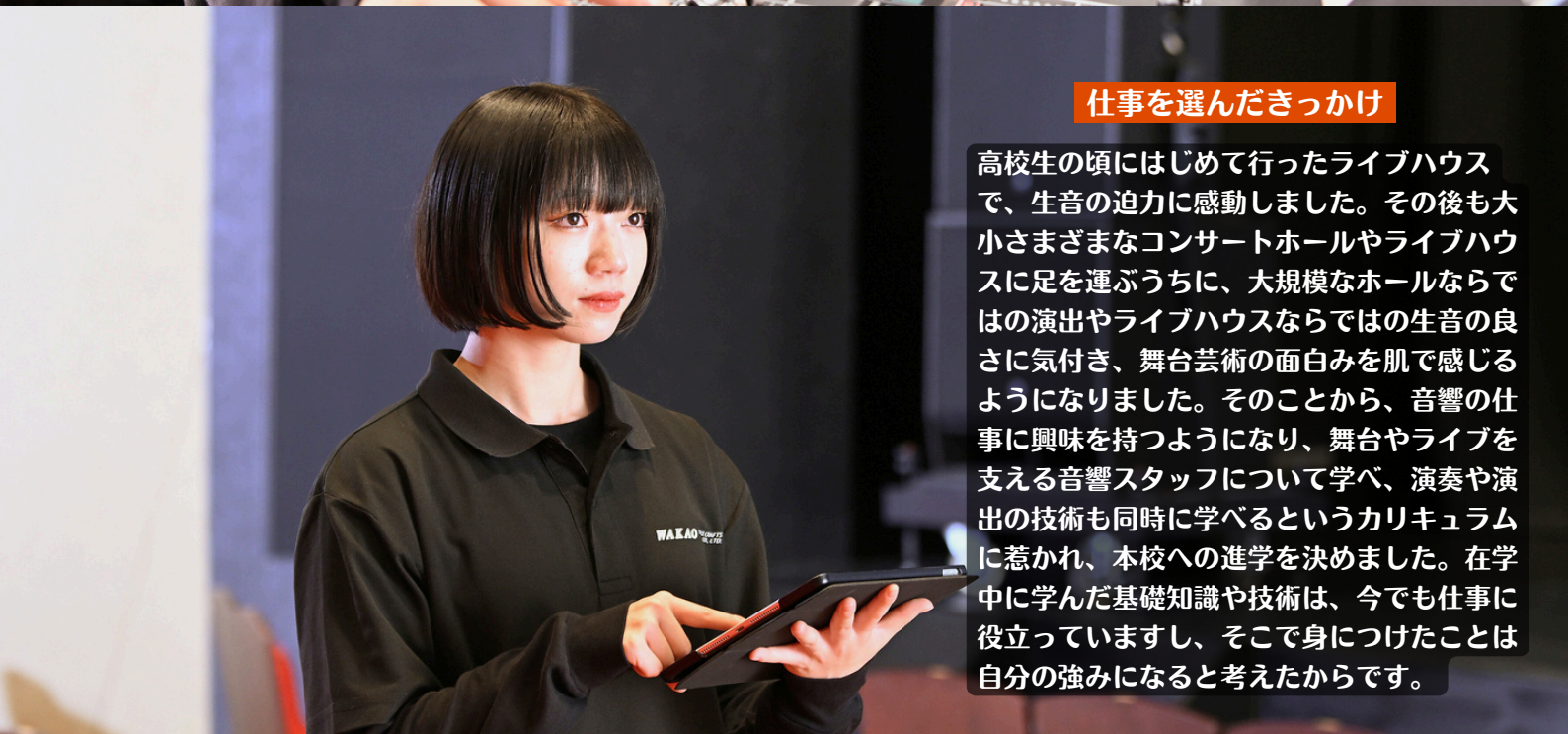




仕事のやりがいや魅力

私は、地元愛知県で1949年に創業し、中部地区を中心に海外も含め舞台芸術やイベント、劇場管理などを行っている企業に舞台音響担当として勤務しています。そのため、オペラやミュージカル、バレエ、ダンス、日本舞踊など舞台芸術の現場、さらには娯楽などのイベント会場にも出向きます。現場では、音響、照明、映像、進行、管理のスタッフが協力しながら舞台やイベントを創造しています。そして、それらのスタッフが演者を支え、演者がお客さんを笑顔にしていく体感は何ものにも代えがたく、やりがいを感じます。演目が終わった後の拍手喝采に包まれている瞬間は、とても感動しますし、演者を支える一員として嬉しく思います。



仕事を選んだきっかけ

高校生の頃にはじめて行ったライブハウスで、生音の迫力に感動しました。その後も大小さまざまなコンサートホールやライブハウスに足を運ぶうちに、大規模なホールならではの演出やライブハウスならではの生音の良さに気づき、舞台芸術の面白みを肌で感じるようになりました。そのことから、音響の仕事に興味を持つようになり、舞台やライブを支える音響スタッフについて学べ、演奏や演出の技術も同時に学べるというカリキュラムに惹かれ、本校への進学を決めました。在学中に学んだ基礎知識や技術は、今でも仕事に役立っていますし、そこで身につけたことは自分の強みになると考えたからです。



学校資料を希望される方は
こちらをTAP！